

2025 ～ 2026 年度国際ロータリーのテーマ

## UNITE FOR GOOD

 ●会長 堤 勝也  
 ●幹事 草村安宏

No.1928 令和 08 年 02 月 06 日 第 25 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

 ※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email [serc@serc2720.org](mailto:serc@serc2720.org)


よいことの  
ために  
手を取りあおう

### ■職場訪問例会

#### ■お菓子の香梅「阿蘇西原工場」集合

(10:20)



#### ■「副島健史社長ごあいさつ」

今回の職場訪問にあたり、熊本地震で被災した旧工場から現在の新工場へ移転・再建し、約7年が経過したことが紹介されました。新しい設備での操業を続ける中で、経年による変化や課題も見え始めているとのお話がありました。



当日は、同社の主力である人材関連商品の製造ラインを中心に見学してもらい、ものづくりの現場を楽しんでほしいとの歓迎の言葉が述べられました。また、先月の熊本RCでの古田会員による職業奉仕卓話への来訪に対する御礼にも触られました。

最後に、限られた時間ではあるが、工場見学や和菓子の実演などを通じて、製造工程やこだわりを体感してほしいとして、来訪者への感謝とともに挨拶を締めくくられました。

#### ■工場に関する説明

同社は昭和24年創業、本年で77周年を迎える和洋菓子製造販売会社で、従業員は約300名。熊本市中央区に本社を置き、阿蘇西原村に主要工場を構えています。県内外に直営店約22店舗を展開するほか、駅・空港・サービスエリアなど全国約200社と取引があり、商品は全国に広く流通しています。



阿蘇西原工場は、和菓子・洋菓子を一体的に製造する拠点で、約120名が勤務し、そのうち約100名が製造に従事。年間約300種類の商品を製造し、月1回・年1回限定商品など季節性の高い菓子づくりも特徴です。特に、和菓子の要である「あんこ」は豆の選定から自社で炊き上げるなど、原料と製法への強いこだわりが紹介されました。

工場は昭和・平成・令和と三代にわたって整備され、熊本地震では甚大な被害を受けたものの、人的被害はなく、その後復旧・再建を果たしました。地震を通じて「水」の重要性を改めて認識し、現在はより安定した生産体制を構築しています。

創業者の教えである「工場精神」を今も大切にし、温度・湿度管理、原料吟味、衛生管理、整理整頓を徹底しながら、品質と技術の向上に取り組んでいることが説明されました。

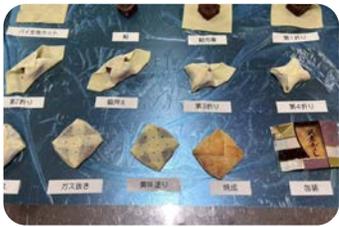
#### ■工場の説明の動画鑑賞・見学



#### ■和菓子の実演（梅の花、鯉）

(焼きたての武者がえしを頂きながら)





## ■質疑応答



当日は、和菓子職人による「練り切り」の実演が行われ、原料や製法について分かりやすい説明がありました。

白あんを使った武者がえしは、あんこの水分や生地の状態によって食感や味わいが大きく変わることが紹介され、出来立てを試食した参加者からは「初めての食感」「とても美味しい」といった声が上がりました。

また、商品を袋に入れずに提供する理由として、あんこの水分が生地に移行し、食感や風味が変わる点が説明されました。自宅での美味しい食べ方として、電子レンジではなくトースターで軽く温めることで、より香ばしさが引き立つことも紹介されました。

質疑応答では、人材確保の現状についても触れられ、長く勤める職人がいる一方で、人手不足が課題であることが説明されました。今年は高校新卒者6名の採用を予定しているほか、繁忙期には短時間アルバイト（箱詰め作業等）を活用し、ベテラン社員が本来の専門作業に集中できる体制づくりを進めているとお話がありました。

## ■会長よりお礼のことばとお礼の品の贈呈



本日は大変お忙しい中、貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございました。到着が少し遅れてしまい、申し訳ありませんでした。

普段、私たちが何気なく口にしているお菓子が、こうした工程を経て丁寧に作られていることを実際に拝見し、大変感動しました。正直なところ、私自身まだまだ不勉強で、白あんと黒あんが違う豆から作られていることを、55歳にして初めて知り、とても勉強になりました。

皆さまが日々企業活動を行う中で、これほどのこだわりと努力を重ねておられる姿を間近で見せていただき、本当に多くの学びを得ることができました。身近にあるお菓子会社でありながら、改めてその価値の大きさを実感しています。

これからは、今日の見学を思い出しながら、感謝の気持ちをもってお菓子を味わいたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

※お土産に陣太鼓と武者がえし、実演の鯉の和菓子を頂きました。



■ グランメッセ 2F レストラン  
「オーシャンズセブン」にて例会  
 (幹事 草村 安宏)

■ 進行  
 (西田智史 SAA)



■ 職業奉仕担当委員長あいさつ  
 (職業奉仕担当委員長 古田哲朗)

本日の職場訪問で工場を訪れることができ、大変有意義な時間となりました。これまで歴史探訪を中心に活動してきましたが、今回はロータリーの職場を実際に訪問するという、ロータリーが本来推奨する「職場訪問」を実現できたと感じています。



現場を直接拝見し、日々の仕事や企業努力に触れることで、職業奉仕の意義を改めて実感する機会となりました。今回の訪問を通じて、職業奉仕活動の大切さを再確認することができ、担当委員長としても非常に良かったと感じています。

■ 2月米山奨学金の授与  
 (魏芸婷さんへ)



■ 幹事報告  
 (幹事 草村 安宏)

■ 来信案内  
 特になし



■ クラブより  
 1)  
 第5回臨時理事会報告。

1. 新会員の件。  
 中武博子氏  
 職業分類の選定 【塗料販売】(新設)

【承認】

2)  
 次週2月11日(水・祝)は休会です。

2月18日(水)例会の卓話は、新会員卓話(平城大海会員、片岡正和会員)となっております。  
 よろしくお願いたします。

■ 今後の地区行事

開催日	行事名	場所	会場	出席者
2026年 02月14日(日)	地区チーム・ ラーニングセミナー	熊本県 人吉市	人吉カルチャーパレス /ホテルサン人吉	
03月07日(土)	会長エレクト ラーニングセミナー (PELS)	熊本県 人吉市	人吉カルチャーパレス /あゆの里	福井学
03月08日(日)	第18回全国RYLA研究会 大分会議	大分県 大分市	ホルトホール/ レンブラントホテル	
04月25日(土)	日田中央 RC 創立50周年記念式典	大分県 日田市	マリエール オークバイン	案内中
05月22日(金) 05月23日(土)	地区大会	大分県 大分市	ホルトホール大分、 他	案内中

■ 出席報告

(出席・プログラム担当委員長 渡邊俊一郎)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
01月21日	37 (免1) 36	28	4	32	88.89
01月28日	37 (免1) 36	22	-	-	61.11

☆出席免除

01月21日 02月06日 島村徹男

★欠席者

01月21日 4名

平城大海 川崎直樹 松元将潔 山本浩之

■ 解散

(13:30)

■ Facebook での交流報告

○国境を越えて続くロータリーの絆  
 — Facebook を通じた心温まる交流 —

このたび、当クラブの Facebook ページに掲載された会員に関する投稿に対し、ウクライナの Rotary Club of Lviv (リヴィウ RC) から温かいコメントが寄せられました。SNS という身近なツールを通じて、国境を越えたロータリーのつながりが今も続いていることを実感する出来事となりました。



リヴィウ RC は、当クラブが実施したウクライナ避難民支援の国際奉仕事業において、実際に現地で活動を担ってくださったクラブです。当クラブから、ハンガリーの Rotary Club of Rzeszow (ジェシェフ RC) 宛てに送付した「くまモン歯ブラシ」などの支援物資は、最終的にリヴィウ RC により受け取られ、避難民の方々へと配布されました。その際には、配布の様子とともに、心のこもった感謝のメールをいただいています。



今回の Facebook 上でのコメントは、そうした支援活動が単発で終わるものではなく、相互の信頼と友情として今も記憶され、大切にされていることを示すものでした。直接のリプライは行っていませんが、過去に交わした以下のメッセージに込められた思いは、今なお両クラブの間で共有されています。

心温まるメッセージと励ましのお言葉を、誠にありがとうございます。

共通の価値観と相互の敬意を大切にするとロータリアン同士として、このようなご縁をいただけたことを光栄に思っております。今後も国境を越えた前向きなつながりが続いていくことを願っております。

ロータリーの奉仕は、支援物資や事業の実施そのものだけで完結するものではなく、その後も続く人と人との関係性によって、より深い意味を持つものになります。今回の交流は、当クラブの国際奉仕活動が確かに相手に届き、時間が経ってもなお心の中に残っていることを示す、大変意義深い出来事でした。



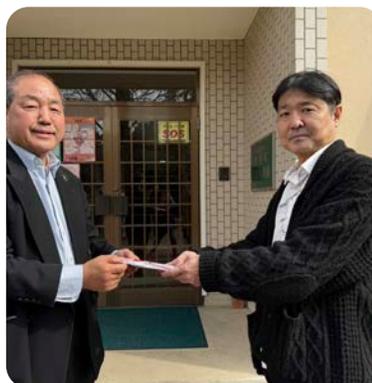
また、このような自然なかたちでの海外クラブとの交流が、結果として当クラブの公共イメージ向上にもつながっている点も見逃せません。SNS を通じて可視化された友情と信頼は、ロータリーの理念を分かりやすく社会に伝える力を持っています。

今後、このご縁を大切にしながら、国際奉仕と友情の輪をさらに広げ、ロータリーならではの価値を発信し続けていきたいと思っております。

## ■高校生通学用自転車寄贈支援事業の中間報告

① 2026 年 02 月 04 日

慈愛園



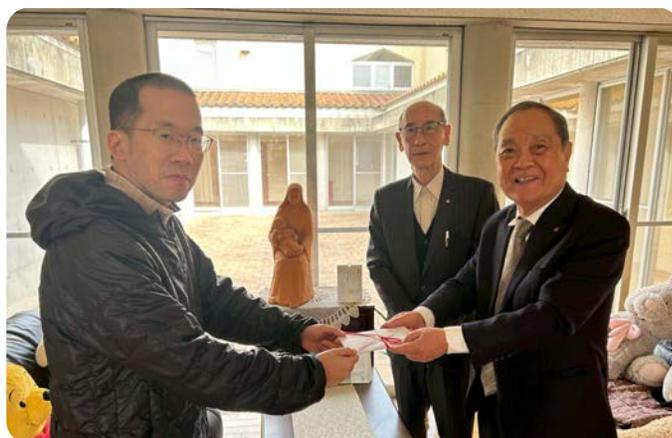
② 2026 年 02 月 06 日

キラキラ星レジデス



③ 2026 年 02 月 06 日

熊本天使園



この 10 年間で累計 8,665,000 円  
約 580 台の寄付活動となっています。  
12 年目の活動も都度報告させていただきます。